



## 「教職の魅力」を考える 6

～ 令和6年度中学生のための教職セミナーより ～

令和7年7月 神奈川県立総合教育センター

神奈川県立総合教育センターでは、キャリア教育の一環として、中学生を対象に「中学生のための教職セミナー」を実施しています。令和6年度に開催された「中学生のための教職セミナー」でいただいたアンケートから「教職の魅力」に係る内容をご紹介します。また今回は、アンケートから見える「中学生とその保護者」が抱く教師像についてもご紹介します。

セミナーに参加申込された中学生からいただいた事前アンケートの回答から、教職への興味・関心につながる質問の答えを要約してまとめました。

### 中学生の声 『教職に興味を持った理由』

- ・憧れの先生との出会い（優しさ・面白さ・熱意）
- ・人に教えることが好き
- ・授業を受けることが楽しい
- ・部活動や学校行事で熱心な先生との関わり
- ・親や親戚が教員でやりがいのある仕事とを感じる

### 中学生の声 『教員になってやりたいこと』

- ・生徒と信頼関係をつくること・相談に乗ること
- ・部活動の顧問として関わること
- ・行事（体育祭・文化祭・卒業式など）への参加
- ・授業を通じて「わかった!」と言ってもらいたいこと
- ・パソコンを使った授業
- ・ピアノ演奏
- ・給食をもう一度食べたい!

セミナーに参加した中学生のアンケートから「生徒から見た先生の魅力」を感じる意見を抜粋しました。

### 中学生の声 受講後の感想より

- ・「中学生のときが一番楽しいし、人生で一番大事」と先生が言っていたから、自分もその大事な時期を支える先生になりたいと思った。
- ・尊敬する先生がいて、その人に影響を受けた。
- ・小学5年生の時の先生に魅力を感じ、友達に勉強を

- 教えるのが楽しくて、先生になりたいと思った。
- ・先生の授業が面白くて、どうやって先生になるのかが知りたくなった。
- ・小1の時の先生に憧れ、中1の英語の先生が心に残り、教職に魅力を感じた。
- ・先生がどんな準備をして授業をしているのか気になった。
- ・中学校にとっても授業がわかりやすい先生がいて、憧れた。
- ・音楽の先生が「音楽」や「先生」を楽しんでいて、自分もそうなりたと思った。
- ・学校が好きで、先生たちが楽しそうにしていたので興味を持った。
- ・友達に質問されたところを答えるときに、人に教えることが面白いと感じた。
- ・授業をしてみて、楽しかったから。
- ・授業を受けた際にすごく楽しそうに教えてくれた先生がいて、その先生のように充実した仕事に就きたいと考えた。
- ・サッカーを指導するコーチになりたいと思っていて、顧問という立場で生徒に指導できる教員に魅力を感じた。
- ・授業をしてみて、難しい部分もあったが、経験してみても楽しい思い出にもなった。
- ・教師ってカッコいいなって思ったので、教員を目指しています。
- ・授業を通して生徒とのかかわりをもちたい。
- ・小学校の先生になって、みんなが笑顔になれるクラスをつくる!
- ・生徒と仲良くなりたい。一緒に成長できると思う。
- ・1年のときの先生がやさしくて、2年生のときの先生がすごく深いところまで教えてくれた。

- ・授業をしている先生が楽しそうだったことと、向いてるよ！と後押しされた。
- ・体育の先生（部活の先生）が自分に優しい言葉をかけてくれた。
- ・今日のセミナーでは、今まで知らなかったことについて知ることができて、とても良かったです。実際に授業を体験して、夏休み明けの授業の見方が変わるので、とてもよい機会になりました。ありがとうございました。

## 保護者の声 受講後の意見より

- ・やりがいがある。
- ・子どもの成長を支えるかけがえのない職業。尊敬できる先生に出会えたことに感謝している。
- ・担任や部活などを通して、子どもの成長を広く見守れる仕事。
- ・子どもを育てるという意味で、他の仕事とは違う価値のある職業。
- ・やりがいがあるという面もあると感じている。
- ・子どもの成長に喜びを感じる。
- ・やりがいは大きい、責任も苦労も大きい仕事。
- ・先生が寄り添ってくれたことで、人生がよい方向に進んだと感じている。
- ・人生に影響を与える職業。
- ・学校の先生が寄り添ってくださらなかったら、もっと人生曲がっていたかもしれません。ずっと感謝しています。
- ・先生方が生き生きとされており、想像以上にやりがいを持って向き合われていると感じました。
- ・先生達は、みんな優しい感じで、色々教えてあげたい、教師になれるようにしてあげたいという気持ちがにじみ出ていて、とても良かったです。
- ・先生のリアルな話を聞くことができて、子どもも充実したと思います。
- ・授業を通して、先生の大変さや工夫を感じられるようになった。とてもよい経験だった。
- ・先生方のアドバイスが優しく、わかりやすかった。教員のイメージがとても身近に感じられた。
- ・生徒に合わせて授業スタイルを変えるのは、人間対人間ならではの仕事だと感じた。
- ・配慮が細かい。（様々な子ども、親、社会に対応するため）→昔より丁寧で優しい先生が多くなった気がする。
- ・真面目、物知り。
- ・雑談したり色々教えてもらったり、一番身近な相談相手でした。
- ・いつも元気（に見える）スーパーマンだなと思います。頼りにしています。先生、いつもありがとう！！
- ・学校の中だけでなく、子どもたちの未来を育ててくださって心から感謝しています。
- ・子どもにとって大変貴重な体験ができたと思います。教師を目指すための導入としてとてもよい内容だと思いました。

参加された保護者の皆様からも「教職の魅力」にかかる御意見を多くいただきました。このことから教職が「人の成長に深く関わる」「やりがいがある」「人生に影響を与える職業」として、強くイメージされていることがわかりました。一方で、保護者の「教職」に関するイメージの中には「人として手本になる立場なので、気を遣う職業。」「お休みをちゃんと取れているのかな？」と思うことがあります。」「大変そう。」「土日、夜間関係なくずっと仕事をしていそう。」など、教職に興味を持った我が子と思う、親としての不安な思いもいただきました。

こうした不安を払拭するためにも、現役の先生たちが教職の魅力を改めて実感し、それを子どもたちに伝えていくことが大切だと感じます。

現役の先生方、これから先生になろうとしている方、また現在先生という仕事に興味を持っている方も「先生になりたい！」と思った時の気持ちを大切に、これからも「教職の魅力」についてともに考えていければと思います。

令和7年度の「中学生のための教職セミナー」は、8月2日（土）開催します！  
（申込期限 7月25日（金））

詳しくは「中学生のための教職セミナー」ウェブページへ  
<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/minasama/chuugakuseikouza.html>

